

支え合い、すすめよう地域福祉

～支え合う一人ひとりが主人公～

問い合わせ 福祉課 福祉政策係（☎内線376）
ページID: 20279

地域での支え合い、助け合いによる福祉Ⅱ地域福祉をすすめるために、さまざまな活動が行われています。
令和4年・5年8月号と、このテーマをシリーズで特集してきました。
今回クローズアップするのは、本市の地域福祉計画にもある「日ごろからつながる」です。
水城小学校の、地域の人・子どもたち・先生と、みんなをつなげる地域コーディネーターの皆さんにお話を聞きました。

みんなをつなぐ地域コーディネーター

地域コーディネーターとは？



▲地域行事「時の記念日」など、地域のことを子どもたちに伝えます。

一言で表すと、地域と学校と家庭のつなぎ役です。地域と学校との連絡調整や地域の皆さんへ学校活動への参加や協力を呼びかけるなど、地域ぐるみで子どもたちを見守り、育て、地域とつながる役割を果たしています。

地域コーディネーターは、市内の全小中学校に配置されています。水城小学校区では、3人の地域コーディネーターが学校のなかにある「さくらルーム」で、活動しています。

日々の活動は
ブログ
「さくらルーム通信」で公開中
📄 <https://cs-mizuki.jugem.jp/>

どんな思いで活動していますか？

（村山さん・松尾さん・陶山さん）
「水城の地が好きだという子どもを育てよう」をスローガンに、水城小学校区にあふれる歴史や史跡、地域行事などの情報や魅力を発信し、子どもたちや保護者を地域へとつないでいきます。地域にどんな人がいるのかを知っているのが、学校にいろいろな人材を紹介できるのが、わたしたちの強みだと思っています。

活動の拠点が学校内にあることで、子どもたちの元気な姿やあいさつにエネルギーをもらっています。この活動を通して、思いがけない人たちと出会え、つながることができました。また、地域や学校となんでも気さくに話し合える関係性が築けたことは財産です。

今日は、日ごろからつながってくれているみんなで、わたしたちの思いを紹介します。

子どもたち、大人たちも

地域行事へ参加しやすくなった

（坂井さん）地域コーディネーターの皆さんの活動は、地域としても助かっています。自治会の回覧板は見えない人も多いのですが、「さくら前線」に地域の情報を載せて学校で配布してもらうことで、地域行事に参加してくれる子どもと保護者が増えました。

（服部さん）さくら前線を見て、家族や友達と一緒に夏祭りや餅つきに参加しました。

（深町さん）さくら前線は、地域の情報や水城小学校区ならではの行事がわかるので、ありがたいです。子どもたちもさくら前線を見て、いつ何があるのかわかっていて、みんなで共通の会話ができます。



地域の情報が詰まった「さくら前線」

顔がわかる関係で、世代を超えて

（松尾さん）子どもたちの登下校を見守る地域の人を取材して、名前と顔、どこに立っているかがわかる地図をつくって校内に掲示しています。

（梅崎さん）地図で顔と名前を覚えて「〇〇さん、おはようございます」とあいさつします。

（村山さん）地域から「子どもが名前を呼んであいさつしてくれた！」と喜ばれました。地域の人も子どもたちの名前を覚えるようになり、あいさつを交わすことが見守る側の生きがいや活力にもなっているようです。

（坂井さん）子どもたちが地域の人の顔を知っていると、何かあったときに「あのおじいちゃんの様子がいつもと違ったよ」と異変に気づけます。日ごろから顔がわかる関係でいることが、福祉にもつながると感じています。



地域の人の顔がわかる安全見守りマップ

福祉課から
伝えたいメッセージ

「つながる」が地域福祉のはじまり

隣近所の人にあいさつや声かけをしたり、地域活動や行事に参加したりする日ごろの小さなコミュニケーションを大切にしましょう。顔の見える関係性になることで、子どもも大人も世代や立場を超えて支え合う「地域福祉」につながります。

地域コーディネーターの
村山雅子さん



水城小学校 教員の
深町真子さん



地域コーディネーターの
松尾智子さん



櫻寺区自治会長の
坂井佳代子さん



水城小学校6年生の
服部空さん



坂本区の
高瀬昭登さん



水城小学校6年生の
梅崎心結さん



地域コーディネーターの
陶山恭子さん



通古賀区の
竹川克幸さん



さくらルームの
キャラクター さくらさん

